



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日

上場会社名 ウライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2658 URL http://www.urai.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 裏井 紳介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務統括本部長兼経理部長 (氏名) 森 和樹 TEL 075-361-0330
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,300	△2.4	247	102.2	248	142.1	245	△73.8
25年3月期第3四半期	7,483	△2.8	122	15.5	102	21.4	934	986.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 284百万円 (△68.9%) 25年3月期第3四半期 913百万円 (1,364.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.85	—
25年3月期第3四半期	87.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	10,661	5,503	51.6	512.91
25年3月期	10,336	5,251	50.8	489.35

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,503百万円 25年3月期 5,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	△1.3	310	139.8	310	207.2	290	△69.0	27.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	11,000,000株	25年3月期	11,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	270,158株	25年3月期	268,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	10,730,193株	25年3月期3Q	10,731,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の期待感から株価の回復・円安が進み、輸出産業を中心とした企業収益改善等、国内景気に緩やかな回復の兆しが見られるものの、円安による輸入価格の上昇、不安定な海外経済情勢等もあり、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する和装業界におきましても、市場縮小傾向に下げ止まり感はでてきましたものの、長引く消費低迷に伴い依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、事業部門間の取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の見直しを行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。

結果といたしまして、当第3四半期連結結果計期間の売上高は7,300百万円と前年同期比182百万円(2.4%)の減少、営業利益は貸倒引当金戻入額等の計上もあり247百万円と前年同期比125百万円(102.2%)の増加、経常利益は248百万円と前年同期比145百万円(142.1%)の増加となり、四半期純利益は245百万円と前年同期比689百万円(73.8%)の減少(前年同期は特別利益に固定資産売却益750百万円を計上したこと等により934百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① きもの事業

きもの事業におきましては、消費低迷の影響から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、消費者の方への商品提案に心がけた「和」の文化を活かしたブランド商品や、タレントのローラを起用した新たな振袖ブランド「ROLA」及びリーズナブルな商品の展開を行うとともに、商品管理体制の改善に基づく商品効率の向上、また、小売店頭活性化への販売促進企画の提案や得意先催事への応援強化等積極的な営業活動の展開と事業効率の改善に努めてまいりました。結果といたしまして、売上高は4,443百万円と前年同期比18百万円(0.4%)の増加、セグメント利益におきましては221百万円と前年同期比129百万円(141.1%)の増加となりました。

② ジュエリー事業

宝石業界におきましては、高額商品の販売は回復基調の兆しがあるものの依然として厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、多様な消費者ニーズへの対応を図るべく店頭展開が可能なデザイナーブランド商品として「ラウラペラッティ」の発表等ブランド商品の拡充と主力ブランドであるスペインの「カレライカレラ」の展開、また、ダイヤ及び色石等素材商品につきましてはファッション性と価格競争力の強化を図るとともに、得意先催事に対する積極的な販売促進企画の提案、在庫の縮減等事業効率の改善に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は1,208百万円と前年同期比53百万円(4.2%)の減少、セグメント利益におきましては56百万円と前年同期比46百万円(478.2%)の増加となりました。

③ ファッション事業

毛皮・レザー等の重衣料商品全般は、猛暑の影響やカジュアル化傾向による単価の下落等より厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、季節変動の影響を受けにくいオストリッチやクロコダイル等爬虫類素材の高級ハンドバッグの拡販に努めるとともに、重衣料商品につきましては当社取扱ブランド商品を中心に軽量感としなやかさを重視したファッション性の高い商品の展開活動を実施、また、商品管理の徹底や催事効率の改善等事業効率の向上に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は1,648百万円と前年同期比147百万円(8.2%)減少、セグメント利益におきましては172百万円と前年同期比72百万円(29.5%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は10,661百万円となり前連結会計年度末に比べ324百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は7,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ396百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金123百万円、商品及び製品が330百万円の増加に対し、受取手形及び売掛金が65百万円減少したことによります。

固定資産は3,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円の減少となりました。主な要因は破産更生債権等が280百万円、会員権等が37百万円の減少に対し、貸倒引当金が275百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は4,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が302百万円の増加に対し、未払法人税等が79百万円減少したことによります。

固定負債は981百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金が91百万円、社債が29百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産合計は5,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が212百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の先行きは、依然として不透明であり、当社及びグループ企業を取り巻く事業環境も引続き厳しい状況であることが予想されますが、現段階におきましては、平成25年11月25日付「貸倒引当金戻入額の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,005,895	1,129,212
受取手形及び売掛金	3,843,799	3,778,125
有価証券	—	2,000
商品及び製品	2,149,113	2,479,143
その他	97,534	107,171
貸倒引当金	△95,800	△98,600
流動資産合計	7,000,543	7,397,053
固定資産		
有形固定資産		
土地	914,538	914,538
その他(純額)	959,708	918,902
有形固定資産合計	1,874,247	1,833,441
無形固定資産		
投資その他の資産	9,449	9,128
投資有価証券	757,788	807,806
その他	1,134,353	777,878
貸倒引当金	△439,961	△164,068
投資その他の資産合計	1,452,181	1,421,617
固定資産合計	3,335,878	3,264,186
資産合計	10,336,422	10,661,240
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666,851	1,969,062
短期借入金	1,756,680	1,801,680
1年内償還予定の社債	58,000	58,000
未払法人税等	79,387	—
賞与引当金	101,500	45,750
売上割戻引当金	13,029	12,248
返品調整引当金	34,918	35,050
その他	237,232	254,314
流動負債合計	3,947,598	4,176,105
固定負債		
社債	203,000	174,000
長期借入金	421,010	329,750
退職給付引当金	62,683	52,098
その他	450,786	425,839
固定負債合計	1,137,480	981,688
負債合計	5,085,079	5,157,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857,196	1,857,196
資本剰余金	1,577,320	1,577,320
利益剰余金	4,441,424	4,654,387
自己株式	△22,691	△22,887
株主資本合計	7,853,249	8,066,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,882	238,218
土地再評価差額金	△2,800,789	△2,800,789
その他の包括利益累計額合計	△2,601,906	△2,562,570
純資産合計	5,251,342	5,503,446
負債純資産合計	10,336,422	10,661,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,483,683	7,300,959
売上原価	4,820,570	4,757,884
売上総利益	2,663,113	2,543,075
返品調整引当金戻入額	42,050	34,918
返品調整引当金繰入額	39,552	35,050
差引売上総利益	2,665,611	2,542,943
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	106,342	100,300
販売促進費	424,196	446,631
広告宣伝費	40,208	48,362
貸倒引当金繰入額	△22,055	△264,331
役員報酬	63,519	57,894
給料手当及び賞与	866,459	872,381
賞与引当金繰入額	45,800	45,750
退職給付費用	105,028	104,855
福利厚生費	157,467	154,622
旅費及び交通費	379,205	374,697
減価償却費	52,818	53,063
その他	324,314	301,366
販売費及び一般管理費合計	2,543,305	2,295,593
営業利益	122,306	247,349
営業外収益		
受取利息	170	151
受取配当金	10,071	9,951
不動産賃貸料	32,429	33,399
貸倒引当金戻入額	—	486
その他	9,499	16,527
営業外収益合計	52,170	60,515
営業外費用		
支払利息	34,772	24,442
社債利息	917	2,055
社債発行費償却	6,350	—
不動産賃貸費用	27,780	26,142
貸倒引当金繰入額	633	—
その他	1,492	7,046
営業外費用合計	71,946	59,687
経常利益	102,530	248,177
特別利益		
固定資産売却益	750,510	9
投資有価証券売却益	4,705	—
特別利益合計	755,216	9

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	—	158
固定資産除却損	—	71
投資有価証券売却損	2,462	—
その他	13	—
特別損失合計	2,476	229
税金等調整前四半期純利益	855,269	247,958
法人税、住民税及び事業税	71,711	5,853
法人税等調整額	△150,981	△3,052
法人税等合計	△79,269	2,801
少数株主損益調整前四半期純利益	934,539	245,156
四半期純利益	934,539	245,156

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	934,539	245,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,650	39,336
その他の包括利益合計	△20,650	39,336
四半期包括利益	913,888	284,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	913,888	284,493
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,425,456	1,262,300	1,795,926	7,483,683	—	7,483,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,425,456	1,262,300	1,795,926	7,483,683	—	7,483,683
セグメント利益	91,797	9,745	244,826	346,369	△224,062	122,306

(注) 1. セグメント利益の調整額△224,062千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,443,481	1,208,773	1,648,704	7,300,959	—	7,300,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,443,481	1,208,773	1,648,704	7,300,959	—	7,300,959
セグメント利益	221,358	56,351	172,524	450,234	△202,885	247,349

(注) 1. セグメント利益の調整額△202,885千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。